

生徒生活アンケート【全学年集計】%

生徒自身の行動についての自己評価集計

(1)集計結果(7月と12月のデータ比較)

【A:あてはまる B:だいたい当てはまる C:余り当てはまらない D:当てはまらない】

質問項目	A・B		C・D	
	7月	12月	7月	12月
①はっきりと大きな声で挨拶をしたり、会釈・返事がきちんとできている。	97%	99%	3%	1%
②自ら気づきをもって無言清掃をしようとしている。	98%	99%	2%	1%
③自分に任された学級や生徒会などの活動をよりよいものにしようとしている。	97%	97%	3%	3%
④履き物・服装を整えて、学校生活を送っている。	99%	99%	1%	1%
⑤朝読書・チャイム着席など時間のけじめの付いた行動をしている。	96%	95%	4%	5%
⑥宿題や課題などの提出期限を守るとともに、学習内容が理解できるように前向きに家庭学習に取り組んでいる。	89%	85%	11%	15%
⑦授業中や集会などで、自分の考えを発表したり、友だちとかかわったりしようとしている。	92%	85%	8%	15%
⑧お互いの良さを認め、仲間を大切にしようとしている。	98%	98%	2%	2%
⑨地域に目を向け、地域での活動にしっかり取り組もうとしている。「地域に役立つ中学生」～総合学習やボランティア活動、通学路清掃など～	96%	88%	92%	8%
⑩自分のもてる力を出して部活動を行っている。(部活動所属者のみ)	87%	94%	1%	6%

(2)アンケート

クラスや学校全体で1学期と2学期の取り組みを比べて向上したかどうか(12月実施)

A (向上した) B (変わらない) C (1学期に比べて課題が残る)

質問項目	A	B	C
①はっきりと大きな声で挨拶をしたり、会釈・返事がきちんとできている。	65%	34%	1%
②自ら気づきをもって無言清掃をしようとしている。	52%	35%	13%
③自分に任された学級や生徒会などの活動をよりよいものにしようとしている。	64%	33%	3%
④履き物・服装を整えて、学校生活を送っている。	49%	36%	15%
⑤朝読書・チャイム着席など時間のけじめの付いた行動をしている。	56%	44%	0
⑥宿題や課題などの提出期限を守るとともに、学習内容が理解できるように前向きに家庭学習に取り組んでいる。	41%	47%	12%
⑦授業中や集会などで、自分の考えを発表したり、友だちとかかわったりしようとしている。	64%	31%	5%
⑧お互いの良さを認め、仲間を大切にしようとしている。	47%	41%	12%

(3)アンケート集計結果から見える今後の課題

・質問項目⑥⑦以外はAB評価が90%以上を占めており、概ね肯定的な評価を得られた。しかし、⑥⑦の家庭学習や課題への前向きな取り組み、授業や集会での生徒による主体的な取り組みについては昨年度も同様な傾向にあり、職員の授業改善、保護者の家庭での協力について更に検討し、お願いをしていく必要がある。「家庭学習の手引」配付、年度当初の学習オリエンテーションの内容を再考するなど、具体的な手立てを講じていく。

・①挨拶、④靴揃え、⑩部活動の項目については、7月より12月のA評価が向上した。生徒が「明倫5」を意識して行動に移している結果であると捉える。一方、その他の項目について、AB評価は7月と同等だが、A評価が低くなっている。二中祭以降は集会で全校の意見を求める場面が少ないということと、集会の数も昨年度より減っていることから、この数字の落ち込みから生徒の意識が低くなっていると判断することは難しい。特に⑦⑧において、教科・領域の全教育活動から、多角的に生徒に考えさせる場面、縦割り活動等異年齢とかかわる活動などを仕組んでいく。